

行政視察報告書

令和3年8月26日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 天野 喜一郎 議員 大月 隆司
議員 仁科 文秀 議員 栗尾 典子
議員 桑田 昌哲 議員

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

行程

8月23日 12時20分～13時20分 北木島日本遺産 『石切り場視察』
13時30分～15時20分 北木島大浦地区意見交流会
15時30分～16時10分 シマヲカナデル実施後作品展示見学

住 所	岡山県笠岡市北木島大浦
電 話	
視察案件	島の現状と地区民との意見交流会
期 日	令和3年8月23日(月) 12時20分から16時10分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	日本遺産『北木石の丁場』 大浦公民館 シマヲカナデル作品展示場
	【視察目的】 笠岡諸島内で一番人口が多い北木島、日本遺産認定後の状況確認、その中の大浦地区の方より島の現状と課題、そして笠岡市の方向性を議員としてどの様に考えているのか。又、島で考えている課題を率直に聞き改善できる内容なの意見交換を行う。令和3年で実施したシマヲカナデル作品展示場の現状を確認。 ●日本遺産『北木石の丁場』

日本遺産認定後の観光客対応。対応会社からの現状問題点を聞く。

入場料が発生しそのお金の流れでどこが何を負うべきかをきちんと整理して対応すべき
ただ、平日での見学は会社従業員の昼休憩を活用している改善はするべきではあるが
責任が市にあるのか事業者にあるか現状は事業者側と判断する。

●大浦公民館での市民対峙意見交流会 大浦地区参加者(14名)創政みらい(5名)

北木島大浦地区の問題点

・いのしし駆除に関する内容【猟友会と地域駆除グループと市長】

地域実情と実態での変化が必要して貰いたい。大浦では対応できるなんでもさせて貰いたい
笠岡市全域での取り決めとなり現状では特別対応は出来ない。各地区での安全管理も考えて
島民はいのしし被害に苦しんでいる。作物を全て食われている。いのししの大きさでの処分
市長が言われた言葉と焼却場との内容が食い違い困惑している

いのしし対策でお金関係への苦情あり

・集落支援員の役割と明確化

各島での集落支援員の対応が違いすぎ納得がいかない、島民が困っている事を実施して貰い
島の課題解決へ繋げて貰いたい。笠岡市の集落支援に対しての制度を説明。

島内での対応をまずは、まち協で課題定義から改善につなげて貰いたい。

NPO しまづくり海社についての疑念・疑問⇒北木島だけでなく笠岡諸島7島に対する支援
として補助金を受けている。議会でも予算が一括すぎるので事業別毎での予算対応を来年度
対応して貰いたい故を市長へ要望

集落支援員での対応が出来ないのであれば、手助け支援員など協力出来るものも考えて
貰いたい。病院への交通・灯油運搬・一人暮らしの方への手助けなど、島内での対応が島民に
伝わっていないどうにかするべき事⇒まずは、NPO・市・島民での会話をして貰いたい
救急搬送などの支援について

北木島で言うと以前の計画がそのまま進んでおらず計画が軽薄化している状態。

●大浦地区からの近況課題

・大浦⇒下浦への市道周辺の木々が覆いかぶさり通行制限も出てきている、尚且つ。真鍋への
水道管更新工事で配管自体を当該道路使用し運搬するとの事。道路整備周辺整備も必要
2年前に整備への見積りを依頼後担当者異動で整備が出来ていないどうにか出来ないか

・8月の大雨から海岸沿いに流木が多く漂着し清掃が大変、又、除去についても島民だけでは
困難である事から市・県に要請したい

●シマヲカナデル作品展示

展示倉庫を確認、管理を島の方にお願いされているが島民からはやりっぱなしと言う認識
隙間や開口部の整備もせず台風など風が強い日での管理に現状無理がある。

○正確な情報伝達をどの様に全員を伝えるか、言い違いなどが無い様にきちんと議事録なりで
残しての対応が必須。議員・議会として責任ある会話をして行く。

補助金を活用対応するのであるなら、その後の事まで考えたイベントであるべき。

課題を聞き改善に向けた対応を今後実施して行きたい。

添付書類	視察資料	視察状況写真	名刺
------	------	--------	----

視 察 状 況 写 真

別紙

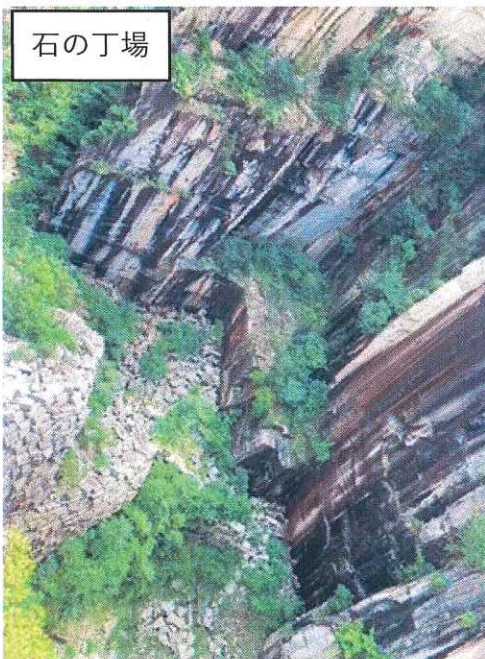
名 刺

なし

視察状況写真



日本遺産 石の丁場



石の丁場

大浦公民館 意見交換様子



シマヲカナデル作品



管理が出来ていない